

ありーて

わたしの未来はわたしが創る

2020.3
19号

特集

誰もが尊重され、
対等に生きる社会を目指して……………p2

インタビュー

- ・高岡DV被害者自立支援基金パサパ
- ・富山県高岡児童相談所
- ・コミュニティハウスひとのま

■セピア色の写真から／尾竹 睦子さん……………p7

■センター活動登録団体紹介 ほか……………p8



「ありーて」は自分の力で問題を解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。



誰もが尊重され、対等に生きる社会を目指して

基本目標Ⅲ

個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり

男女平等・共同参画社会の形成には、個人がそれぞれ等しく尊重され、多様な生き方を認め合うことが前提となります。今回は「あらゆる暴力的行為や虐待等の根絶」と「あらゆる人に対する人権の尊重」について、民間団体と行政それぞれの取り組みを通じて、私たちにできることを一緒に考えてみました。

あらゆる暴力的行為や虐待等の根絶

DV（ドメスティック・バイオレンス）

高岡市男女平等推進センター相談室では、本人や家族などからの様々な相談を受けています。平成30年度は延べ約2600件、うちDVに関する相談は約1600件と、全体の約6割を占めています。

DVは社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっていますが、被害の相談件数は年々増加しており、内容も複雑化・深刻化する状況にあります。

そこで、DV被害者が自立の一步を踏み出すための支援をしてい

暴力の種類	内容
身体的暴力	殴る、蹴る、物を投げつける、首を絞める等
精神的暴力	大声でどなる、無視する、交友関係や電話・メール・郵便物を監視・制限する等
経済的暴力	生活費を渡さない、仕事に就くことを許さない、金銭的な自由を与えない等
性的暴力	性行為の強要、見たくないポルノ雑誌等を見せる、避妊に協力しない等
デジタル暴力	携帯電話をチェックしたりGPSで監視する、ネット上で悪口を書いたり体の写真や動画をネットに公開するとおどす等
子どもを巻き込んだ暴力	子どもに暴力を見せる、子どもを危険な目に遭わせる、子どもを取り上げる等

る「高岡DV被害者自立支援基金パサパ」の向代表にお話を伺いました。

●DV（ドメスティック・バイオレンス）

配偶者や恋人など親密な関係にある、もしくはあった相手からの「暴力」。

インタビュー

高岡DV被害者自立支援基金パサパ



高岡DV被害者自立支援基金パサパ代表 向 富士子 さん

■設立の動機

離婚調停を進めるときに必要な収入紙代さえ払えないDV被害者がいることを知り、お金がなくて困っているDV被害者にお金を貸すことができないかと思ったのがきっかけです。ニーズがあるのはわかっていたので、行政に相談し勉強会を行いました。試行錯誤しながら活動を始めました。

■活動内容

お金に困っているDV被害者に5万円を上限にお金を貸したり、生活に必要な電化製品、日用品、衣料品などを提供したりしています。また、DVの理解を深める活動として、講演会に講師として呼ばれることもあります。

活動については、会の趣旨に賛同

してくださる多くの会員や協力団体の会費や寄付によって支えられています。

■私たちにできること

まずはDVを知ることです。DVは殴る・蹴るといった身体的暴力だけを指すのではなく、精神的暴力や経済的暴力なども含まれます。どのような行為がDVに当たるのか、それを多くの人に知ってもらうことが必要だと思います。

私たちの中には、多少の暴力は容認してもいいという考えが未だ残っています。暴力を使わないコミュニケーションを身に付け、暴力による束縛を嫌だと思ふ気持ちを育て、相手を尊重して付き合うことの心地良さを感じてもらいたいです。

DV被害者は、被害者でありながら、自分や子どもの身を守るために、これまでの生活の場を離れなければなりません。おかしいですね。暴力を容認しない社会をつくっていきたいと思います。

高岡DV被害者自立支援基金パサパ
080-061550-08088
<http://pasapas.exe.jp/>

※入会や寄付については、お問い合わせください。

【高岡市のDV対策の取り組み】

平成24年に高岡市DV対策基本計画を策定し、同年、男女平等推進センターに「配偶者暴力相談支援センター」の機能を設置しました。暴力はどんな理由があっても許されないという認識のもと、DVに対する正しい理解を深める取り組みを行っており、若い世代へのDV予防啓発に重点的に取り組んでいます。

◎暴力予防啓発リーフレット（配布（市内小学6年生）
◎デートDV等予防啓発講座（実施（市内中学1年生）等

●デートDV…交際相手からの暴力
●配偶者暴力相談支援センター

配偶者からの暴力の防止、被害者の保護のための業務を行う。

高岡市男女平等推進センター相談室 （配偶者暴力相談支援センター）

専任の女性相談員がDVや家庭・職場の悩みごとなどについて、電話相談・面接相談に応じています。【面接相談は要予約】
（男性からの相談は電話相談のみ）
受け付けています。

相談無料・秘密厳守

◆相談日時

月・火・水・金	9:30~16:30
木	14:00~20:00

※土・日曜日、祝日、毎月第4月曜日、
年末年始は休み

☎0766-20-1811

高岡市末広町1-7 ウイング・ウイング高岡6階

虐待の種類	内 容
身体的虐待	殴る、蹴る、首を絞める、溺れさせる 等
性的虐待	性行為を強要する、性器や性交を見せる、わいせつな写真などの被写体になることを強要する 等
ネグレクト （養育の怠慢、拒否）	食事を与えない、家や車に放置する、病院に連れて行かない 等
心理的虐待	暴言、無視、他の兄弟と差別的な扱いをする、子どもの前でDVを見せる（面前DV） 等

児童虐待

近年、児童虐待が表面化する中、問題が深刻化する前の早期発見・対応や、地域におけるきめ細やかな援助が求められるようになってきました。

そこで、子どもの福祉に関する相談援助に携わっている富山県高岡児童相談所の河井真紀子所長にお話を伺いました。

●児童虐待

子どもに対して保護者等が適切な保護や養育を行わないことなどにより、子どもの心身の健やかな育ちを損ねる行為。

インタビュー

富山県高岡児童相談所

所長 河井真紀子さん

■虐待を受ける子どもについて

被害に遭う子どもには「自分が親の言う通りにできないから叩かれるので、自分が悪い。」と、虐待を受けているという認識がないことが多いです。また、子ども自身が、虐待被害の状況を説明することが難しい事例が多いです。

■虐待の発見について

保育所や学校に通っている子どもは、先生など周囲の人が虐待のサインを発見するケースがありますが、保育所や学校に通っていない子どもの場合には虐待の発見が困難なことがあります。

虐待が強く疑われるケースとして、例えば、子どもの泣き声と併せて親の怒鳴り声や物を壊す音などが、1回でなく複数回ある場合などです。

転居を繰り返したり、隣近所との付き合いがなかったりする家庭には、フォロワーが難しいことがあります。児童相談所相互間の情報共有に努めています。



■虐待が疑われるとき、通報時に気を付けること
いつ、どこで、誰が、どんな様子でなど、具体的な事柄を、児童相談所に通報していただけたら有難いです。また、警察との情報共有を図りながら対応に努めており、場合によってはすぐに警察に110番通報をしてくださいとお願いをすることもあります。



■私たちにできること

虐待している親は、周りから孤立して追い詰められた状況なのかもしれません。

保護する立場の児童相談所は、親子関係が修復するよう支援することを目標にしています。

周りの方々も、親子を見守る姿勢でよろしくお願いします。

富山県高岡児童相談所

T93310045
高岡市本丸町12-12
☎0766-21-2124

児童相談所虐待対応ダイヤル
「189」
いちやく

※通告・相談は、匿名で行うこともでき、
通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

あらゆる人に対する

人権の尊重

性別、年齢、国籍、障がいの有無などその人の持つ個性や多様性を認め、尊重して受け入れ、能力

を最大限発揮できる環境をつくる
ことがこれからの社会に求められて
います。

そこで、引きこもりや不登校、
生活困窮、DV被害者など様々な
困難を抱える人が集える場を提供

し、支援をしている「コミュニティ
ハウスひとのま」の宮田代表に設
立の動機や活動内容などについて
お話を伺いました。



インタビュー 「コミュニティハウス ひとのま」



コミュニティハウス
ひとのま
代表
宮田 隼 さん

■設立の動機

福岡県出身で愛知県の大学を卒業
後、名古屋で学習塾の講師として勤
めました。学習塾にはいじめに悩ん
だり、家庭に居場所がないと感じた
りするなど、様々な問題を抱えた子
どもたちがいました。彼らの悩みと
とことん付き合おうと、宮利企業
である塾の制約を超え、「誰も排除
しない」自分の塾を立ち上げ、彼ら
の居場所を作ろうと決意しました。

■活動現状

「コミュニティハウスひとのま」
には、子どもから大人まで訪れます。

開設当初は、不登校や引きこもりの子
どもたちが多く来ましたが、最近ほ生
活困窮者や行き場所のない大人の訪
問も増えてきました。

「ひとのま」までどうしても足を運
べない人には、要請があれば必要に応
じて家庭訪問をしています。また最近
は、学校や市役所なども連携をとっ
て活動しています。

■運営方針

子どもから大人まで、生きづらさを
包み込む場所として発足したので、運
営方針といった決まりごとは、最小限
となっています。毎週、月・水・金曜
日の夕食は、みんなで作って食べるこ
とにしています。当番制というもので
はなく、気の付いた者が、ご近所差し
入れの野菜などの有り合わせの材料
や買い出しで作ります。

■困難な状況にある人への支援のた
めに

早急な課題解決ではなくて、単に話
を聞いてくれる関係や居場所が大切
だと思えます。不登校や引きこもりで
あった子どもたちも、いつかは自分で

決めて、決めたとところに旅立ってい
くことが多いです。

それまで、学校、職場、家庭以外
の第三の居場所が「ひとのま」であ
ればよいと思います。



コミュニティハウスひとのま

〒933-0087

高岡市東上関3809

☎0766-54-5880

- ・利用時間 10時～17時
- ・定休日 火曜日
- ・利用料 会員 3000円/月
一般 3000円/日

まとめ

DVや虐待による事件
が相次いで報道されてい
ますが、決して他人事
ではなく、実際に皆さんの
身近に起こっていること
です。私たちには、まず
DVや虐待の正しい知識を身に
つけること、そして自分や自分
の周りに目を向けることが求め
られます。

高岡市においても公的機関や
民間団体などの関係機関と連携
を強化し、DVや虐待の早期発
見・対応、防止に関する啓発や
相談対応に努めています。

DVをはじめとした暴力的行
為や児童・高齢者への虐待行為
は、犯罪にあたる行為を含む重
大な人権侵害であるとの認識に
立ち、今後も社会全体の問題と
してDVや虐待の根絶に取り組
むことが必要となります。

そして、何かしらの生きづら
さを抱えた人が多い現代、その
人が持つ個性や多様性を尊重
し、互いに助け合うことで、男
女平等・共同
参画社会の実
現を目指して
いきます。



基本目標Ⅳ

計画の総合的な推進

市民や関係団体、事業者等と連携しながら、計画の周知と市民意識の醸成、積極的な実践活動を促進します。

男女共同参画週間

男女共同参画社会基本法（平成11年6月23日公布・施行）の目的や基本理念について理解を深めるために設けられた週間で、男女共同参画を推進するための様々な取り組みを行っています。

本年度は「ダイバーシティ」をテーマに大工原ちなみさん（富山大学人文学部教授）を招き企画講座を実施し、多様性を認め合って活かすために私たち一人ひとりがどう向き合えばよいのか学びました。その他に、男女平等推進センターサロンに展示コーナーや書籍紹介コーナーを設置しました。また、高岡市立中央図書館と連携し、同館においても男女共同参画に関する書籍紹介コーナーを設置しました。

●ダイバーシティ

様々な違いを尊重して受け入れ活かすことで、多様な人材を積極的に活用しようという考え方。

粹（いき）メンプロジェクト

男女平等・共同参画に積極的な男性は「粹」で「カッコいい」ものであり、好ましいモデルとして育成していく必要があるとの考えに基づき、子育て世代からプラチナ世代までの幅広い男性を対象に家事、育児、介護、仕事と生活の調和をテーマとした講座の実施に取り組んでいます。

本年度は男性の家事・子育て参加を目的に講座を実施しました。

●父子（祖父と孫）で和菓子を作ろう

生原正樹さん（おいはら餅店）指導のもと、父子で協力し、芋ようかんと、くるみ餅を作りました。



●育児はお母さんだけじゃない

だから大好きお父さん！
男性保育教諭の豊富な経験を聞き、子育てのヒントやお父さんな

らではの遊び、ふれあい方を学びました。

男女平等EXPO高岡2019

高岡市の男女平等・共同参画に対する姿勢を市内外に発信し、男女平等・共同参画の実現に向けての機運を一層高めていくため、実行委員会が主体となり、市民や事業者、各界各層の団体と協働で毎年実施しています。

本年度は高岡市男女平等推進センター開館15周年を記念し、大人から子どもまで楽しみながら男女平等・共同参画を考えるきっかけになるよう、企画講座や様々なイベントブース、ワークライフ・バランス推進事業所認定証授与式を実施しました。

企画講座では富山市・飛騨市・高岡市の3市が連携し、各市の男女共同参画に関する取り組みについて意見交換を行いました。

イベントブースでは、いろいろな性について学ぶ展示や朗読劇、プロに教わる家の汚れ掃除講座な



どを行い、楽しみながら学び、みんなが笑顔になれる場所となりました。

ワークライフバランス推進事業所

高岡市では、誰もがやりがいや充実感を感じながら働く一方、子育て・介護・地域活動・自己啓発などの時間を持てる、健康で豊かな生活ができる職場づくりに積極的に取り組む54事業所を認定しました。

(株)アキデザイン／(株)イカイ硝子建材／一公工業(株)／エスエイチ(株)／(株)開進堂／(有)角玄工業所／(株)協和総商／(有)技建工業／(株)グランテック／ケースメタル(株)／(株)小泉製作所／幸塚汽力工業(株)／小間印刷(株)／(株)才高／(株)三共空調サービス／清水工業(株)／(株)商工レストラン／(株)翔南産業／昭和建設(株)／(株)せんだ／相互企画印刷(株)／(有)大開工業／(有)タインショウ／(株)大地／大砥運輸建設(株)／高岡ガス(株)／(有)高岡南福祉会／(株)龍根工業(株)／田組(株)／竹澤工業(株)／(株)谷口／チエコペットクリニック／(株)東洋通信工業(株)／(有)仁光園／西村工業(株)／(株)日東／(株)早木工業／(有)福岡福祉会／富士コンテック(株)／フジサワ電機(株)／(株)フジタ／(株)穂明コーポレーション／(株)ホクセイプロダクツ(株)／北陸エレコン(株)／(株)北陸化成工業所／(株)本田ししゅう／丸進商事(株)／(有)マルタカ防災／(株)瑞穂／(株)ミヤシゲテック／(株)室屋／山辺事務機(株)／雄基工業(株)／(株)レクティオ

(50音順に記載・令和元年12月末日現在)

市民企画講座

固定的な性別役割分担意識等による慣行等の解消のため、広く市民から講座の企画を募集し、協働で実施することにより、男女平等・共同参画の啓発や普及に努めています。

今年度は、4つの高岡市男女平等推進センター活動登録団体のもと市民企画講座を実施し、女性の活躍や働き方について学びました。

- アプローチ
- 多職種ネットワーク高岡
- 男性介護者の会「みやび」
- ふあん・ふあしい・cafe

(50音順に記載)

学習支援事業

市民団体やグループが行う男女平等・共同参画への理解を深めるための講座や研修の講師の派遣などについて支援をしています。

- 今年度は、2つの高岡市男女平等推進センター活動登録団体の学習支援を実施しました。
- オリーブの会
- ベアテさんの会

(50音順に記載)

活動登録団体

男女平等・共同参画の推進に関する活動をしている団体・グループを、高岡市男女平等推進センター活動登録団体として登録しています。活動登録団体は男女平等推進センターの交流スペースや活動用ロッカーの使用が無料になるほか、他の団体・グループとの交流も盛んです。

また、Eネット（高岡市男女平等推進センター活動登録団体ネットワーク）では、例年9月に「Eフェスタ」を開催しており、各団体がワークショップや展示を通じて、活動をアピールしています。

まとめ

高岡市の男女平等・共同参画推進の拠点施設である男女平等推進センターを中心として、市民や関係団体、事業者、市内各部署等と連携し、市民のニーズや社会情勢を把握しながら、各種施策を総合的に推進することが、男女平等・共同参画社会の実現のために必要となります。

高岡市男女平等推進プラン(第2次)

高岡市男女平等推進プラン(第2次)における基本目標

- 1 あらゆる分野において、男女が平等に参画できる環境づくり
- 2 仕事と生活の調和が保たれ、男女がともに活躍できる環境づくり
- 3 個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり
- 4 計画の総合的な推進

18号・19号と2年間にわたり特集ページで、高岡市男女平等推進プラン(第2次)の基本目標について市役所や民間団体、個人、事業所における取り組みを紹介してきましたが、みなさんいかがでしたでしょうか。裏表紙のQRコードを読み込み、ご感想をお寄せください。

高岡市男女平等推進センター 開館15周年

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画を推進する市民活動を支援するとともに、男女平等・共同参画の推進に関する施策を総合的に進めるための施設として2004年に開館し、2019年で15周年を迎えました。

これからもより活用しやすい施設であること、いろいろな情報が集まる施設であることなど、ひと・もの・ことの拠点施設となるよう努めてまいります。

セピア色の写真から

万葉に情熱を注ぎ、

「かたかご姫」と呼ばれた

尾竹睦子さん

(一九三二～二〇一五年)



国には切手で発信することを思いついた。そこで、郵政省に何度も手紙を出したり、直訴したりした。その熱意が叶って、平成6年、万葉の花「かたかご」はついに切手になった。いつしか「かたかご姫」と呼ばれるようになった。



もののふの八十娘子らが汲みまがふ寺井の上の堅香子の花

(万葉集 卷十九 4143・大伴家持)

【大意】

おおぜいのおとめたちが、入り乱れて水を汲む、寺井のほとりの、かたくりの花よ。

【観光ボランティアガイドグループ「あいの風」発足】

昭和60年4月に観光ボランティアガイドグループ「あいの風」を立ち上げた。その矢先、夫が心筋梗塞で倒れた。しかし、そんな中でも夫の看病をしながら、ボランティアガイドの勉強会には欠かさず参加した。そして、長期にわたり万葉集をはじめ、瑞龍寺や土蔵造りの町などを市内外の皆さんに楽しく紹介した。

当時は万葉の「故地めぐり」、「歌碑めぐり」と万葉関連の観光客が多く、全国各地からの万葉ファンの案内で大

新たな時代「令和」がスタートした今、高岡を万葉の故地として全国に紹介することに尽力された尾竹睦子さんについて、ご家族や、親交の深かった巴陵嘉子さんと杉山喜重子さんにお話を伺った。

【幼少の頃】

昭和6年生まれ。子どもの頃は、特別に文学に興味はなかったが、万葉集を知ってからは学ぶことが楽しくて仕方なかった。昭和の初めは万葉集と言っても見向きもされなかった時代だったが、睦子は万葉集の研究を行っていた父・田辺武松(故人)の影響で、万葉集に興味を持った。抜群の記憶力を持ち、自分の気に入った歌は何巻の何番目かすべて暗記した。家の中は豊富な資料があり、万葉集であふれていた。

【入柄】

猪突猛進の行動力で思い立ったらすぐに行動に移す性格だった。自分で考え、自分の思うように生き、「したらいいちゃ。」ということとは精神的に活動した。そこで、万葉集を全国に周知するために、持ち前の行動力で、万葉学者で後の高岡市万葉歴史館名誉館長・犬養孝さん(故人)に協力をお願いした。どこへ行っても犬養さんが「万葉の高岡」を宣伝してくださり、「万葉の里高岡」は全国に広がっていった。

【万葉集とかたかごの花】

万葉集でかたかごの歌は1首しか詠まれていない。それが高岡で詠まれている人気の歌である。そこに注目し、かたかごを植えることにより、高岡の皆さんに万葉集を知ってもらおうと、昭和55年頃、かたかごを植える一株運動に取り組んだ。また、知らない人には目に見えるものが効果的と考え、全

【万葉歴史館】

さらに、睦子は「市制100年に向けて、万葉歴史館を作って、ぜひ高岡の目玉にしてほしい。」と言ったのがきっかけの一つとなり、平成2年12月には念願の日本初の万葉歴史館が開館した。その際、名誉館長の犬養孝さん(故人)が「尾竹さんがいなければこの『万葉歴史館』が建つことはありませんでした。」とたぎる熱意を称えた。

【万葉に生きて】

2015年にがんが見つかる。「わし、もう体辛くなってきたさかい 今日で終わりにするちゃ。みんなガイド頑張つてね。」睦子は出会った人々の心の奥深くに、「万葉とかたかごの花」という思い出を残して逝った。



〈引用〉北日本新聞 追想 ありし日

高岡市万葉歴史館ホームページ
<https://www.maneki.com/>



高岡市男女平等推進センター 活動登録団体紹介

NPO国際社会教育武道連盟 空手道 千山道場

10年前、全国的にも珍しい「女性道場主」の空手道場「千山道場」が高岡に誕生しました。

直接打撃空手の日本代表としてトップ選手でもあった女性空手家の堀田千宴子代表が、結婚や出産を機に引退を決断していた折、まだまだ男社会の世界であった武道界の中で、男女や年齢の垣根を越えた社会教育としての武道活動を目指し、女性道場主となることを決断し設立しました。

設立当初から県内はもちろん全国的にも新聞やテレビ、雑誌などで紹介され、社会的にも新しい風として大きな一歩を踏み出しました。

2020年は東京五輪。堀田代表はボクシング競技でのオリンピック出場に挑戦し、高岡の老若男女の元気の源として活動しています。

NPO法人 親と教員の会 こどものその

「親と教員の会こどものその」は、子どもたちが主体で、子育ての主権は親、教員は援助者という教育理念の元、親と教員と一緒に園の運営・経営をしています。子どもたちがどのように活動・成長したいか、親がどのように子育てし、成長させたいかをみんなで考えている認可外の幼児教育施設です。

2019年の夏は年長児の親の企画で、牛乳パック270個を使い、親子で舟を作りました。舟に興味を持てるように、新湊の渡し船に乗るなどいろいろな活動も行いました。そして当日は国分浜に舟を浮かべて乗り、海に浮く感動をみんなで味わいました。

また、子育て支援事業として毎週水曜日に未就園の親子に向け、「親と子のふれあい広場」を開催しています。

あなたのグループも男女平等推進センターに登録しませんか？

男女平等・共同参画の推進に関する活動を展開しようとする団体は、センターをグループ・団体の拠点として活用できます(交流スペース、活動用ロッカーの無料利用等)。

センターのホームページで、登録方法や上記以外の登録団体・グループも紹介しています。

編集員ひとことメッセージ

●井波 清三

当初、高齢の自分が「編集員」に係わることに戸惑いもありましたが、若い人達と交わることで気持ちも若返った気分になり、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

●釣 優子

一人ひとりが大切にされる社会に必要なことは、現状を知り、できることを考え実行することであることを痛感した1年でした。

●大巻 裕子

やって損なことはない。そんな思いの2年間でした。遅まきながら、人の何かを見た気がします。ありがとうございました。

●土肥 慶一郎

DV・児童虐待の悲しいニュースが多い年でした。弱い立場の人々が「ありて」を手に取り、明日の希望を持てる誌面づくりに努めました。ありがとうございました。

市民編集員の皆さん、2年間ありがとうございました。次号から、また新たなメンバーでお届けします。



高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は、男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

ありて キャラクターデザイン：山崎 可菜さん

「ありて」の感想をお寄せください



- ◆ QRコードから
- ◆ E-mail/ gec@city.takaoka.lg.jp
- ◆ FAX/0766-20-1815

いずれかの方法でお願いします。

※「ありて」のバックナンバーは、ホームページでご覧いただけます。

発行／高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
 (ウイング・ウイング高岡6階)
 電話/0766-20-1810 FAX/0766-20-1815
 E-mail/ gec@city.takaoka.lg.jp
 ホームページ/
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>